

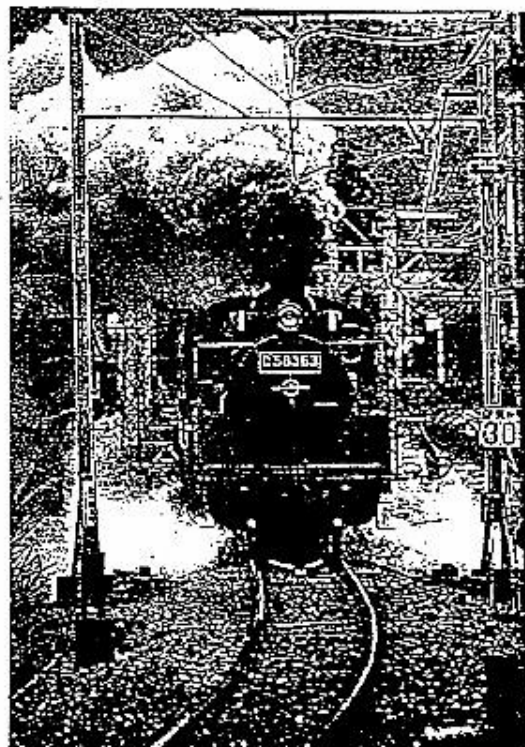
平成12年7月23日(日)

第二八〇回 史跡めぐり 資料

暑気払い・長湍下りと懐かしのSL

越谷市郷土研究会

ボーツと黒煙をはきながら、地上のあらゆる音を汽笛がかき消す。はじめて聞いた人でもミョーニ懐かしさを覚える。このSLはC58363型で1944年に、川崎車輛で製造され、陸羽西線等東北地方を中心に活躍していた。新しい名前はパレオエクスプレス。パレオとは2000万年も前の時代、秩父地方に生息していた海獣パレオパラドキシアに、その力強いイメージをドッキングさせたもの。その走りっぷりはなかなかお見事で、秩父鉄道熊谷駅から三峰口駅まで全長約57キロメートルを約2時間30分で走る。





長瀨 ながとろ

■天下の景勝地・長瀨。駅の東側には国指定名勝天然記念物の岩壁、西側には秩父三社のひとつ宝登山神社がある。長瀨は桜の名所であり、多くの観光客で賑わう。
 【長瀨町】
 3月第1日曜/長瀨火祭り
 4月3日/宝登山神社例大祭
 8月15日/船玉まつり

皆野 みなの

■皆野といえば、群馬の八木節・栃木の日光和楽踊りと共に関東三大民謡に数えられている秩父音頭の発祥の地であり、町中央のおわん形の山は、桜の名所として名高い栗の山である。
 【皆野町】
 7月19日/親鸞の祇園祭
 8月14日/秩父音頭まつり
 8月16日/立沢の虫おくり

秩父 ちちぶ

花園 IC

寄居 よけい

■寄居駅はJR八高線と東武東上線が交差する。いよいよこの辺から秩父の山並へと突入する。寄居町は、日本名水百選に数えられる日本水(やまとみず)が有名である。
 【寄居町】
 4月1日~20日頃/寄居桜まつり
 4月18日/寄居北條まつり
 5月5日/日本水まつり
 8月第1土曜/寄居玉淀水天宮祭
 11月2日・3日/寄居秋祭り

武川 たけかわ

■武川駅を過ぎると、広大に広がる野原畑や水田がある。遠くには浅間山・榛名山・赤城山・男体山が見える。
 【川本町】
 4月9日/重忠まつり
 8月第2日曜/川本ふるさとまつり
 10月下旬~3月上旬/白鳥飛来(荒川)

熊谷 くまがや

■JR高崎線と上越新幹線、そしてバリエオエクスプレスの走る秩父鉄道が交差する熊谷駅は、埼玉の北の玄関口。この駅の5線線から終点三條口まで57kmのスタート。
 【熊谷市】
 7月20日~22日/うちわまつり
 8月第2土曜/花火大会

第280回 史跡めぐり 暑気払い・長瀨下りと懐かしのSL
 平成12年7月23日(日) 午前7時50分 JR南越谷駅前
 コース 越谷駅(8:08発) = 南浦和駅 = 浦和駅 = 熊谷駅 = <秩父鉄道9:36発> = 樋口駅…日本最大の板碑…樋口駅 = 上長瀨駅…金崎古墳群…親泉橋~<長瀨下り>~長瀨…昼食…宝登山神社…長瀨町郷土資料館…長瀨 = <秩父鉄道・SL乗車> = 熊谷駅 = 大宮駅 = 南浦和駅 = 南越谷駅(17:54予定) 解散
 参加費 6,500円(交通費・SL整理券・資料代) 昼食自由
 案内者 宮川 進



野上下郷石塔婆

所在地 大字野上下郷小坂
 国指定 昭和三年二月七日 史跡

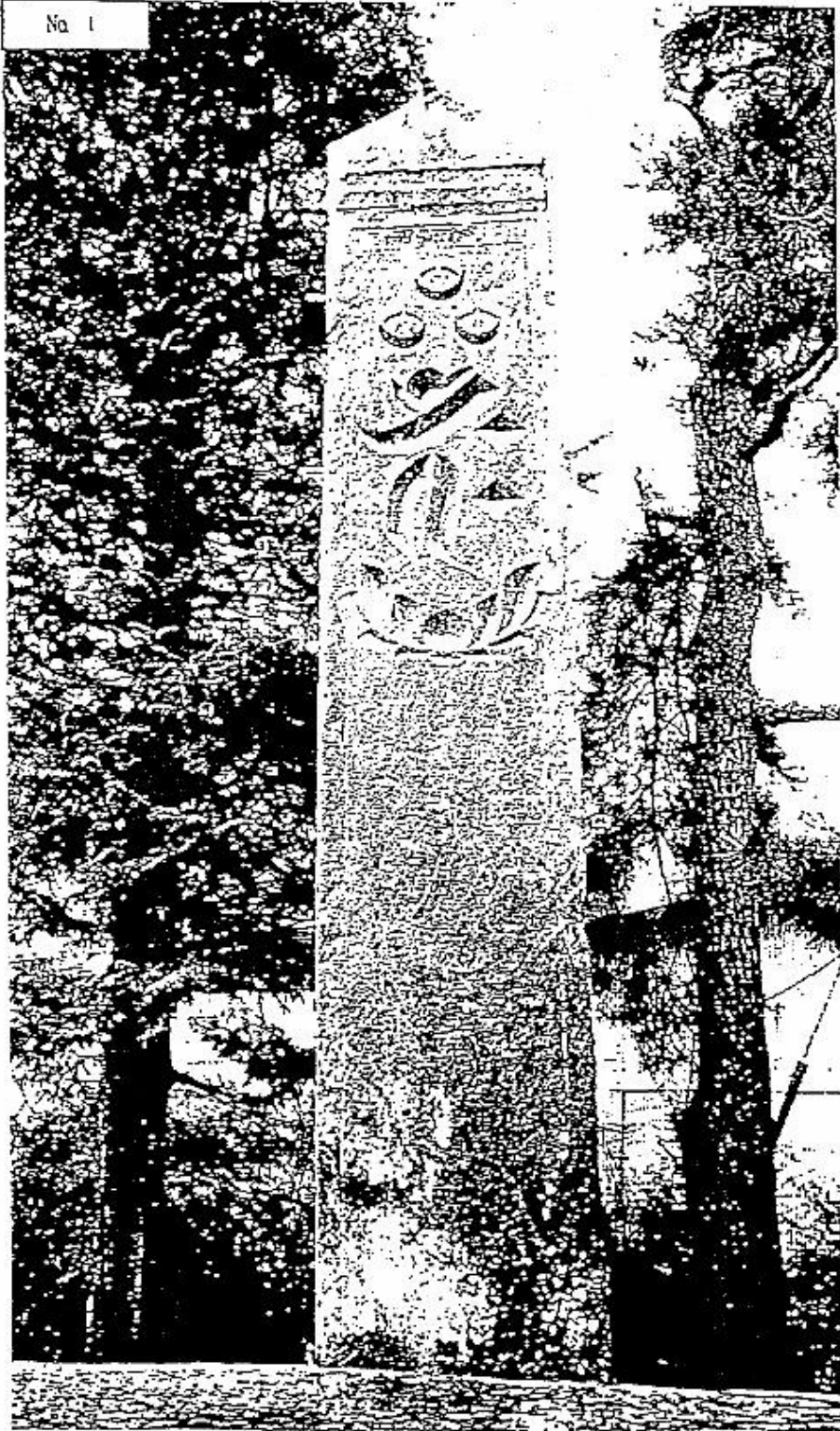
在銘青石塔婆中、日本一の高さを誇り地上高五、三五m、巾一、二m、厚一二cmある。

新編武蔵風土記稿秩父郡之六、野上下郷の条に、「古碑 へら仏下云、小名小坂ニアリ長サ一丈六尺七寸、応安二年己酉十月日」と記されており、当時の人々が丈六仏（像を一丈六尺につくる）を意圖して造立したのであらう。

明治四年秩父鉄道開通の際、現在地より約五〇m余り南の荒川沿いから移されたもので、古来里人から天道大日様としてうやまわれてきた。

材石は当所荒川北岸の山腹、石切場から搬出された緑泥片岩を用い、碑面上部に宝珠三点、釈迦の梵字を大きく裏彫りとして臺台上に置き、梵字光明真言四行、中央に応安二年己酉十月日敬白、左右に願以比切徳 普及於一切 我等興衆生 皆共成佛道の偈文、下

三行宝珠は三祥文、或は梵字（イ）字の三尖は三
 行を以て胎蔵界（ア）金剛界（ベン）金剛薩埵（イ）
 の三行を以て胎蔵界（ア）金剛界（ベン）金剛薩埵（イ）



石材保麻造
野上下御代ノ上
野不切舟ノ波（野上下御代）

部に大権部造親、行阿、丘尼妙円、正家、正吉、結衆三十五人と刻されているが、削落して解読できない字がある。因に妙円は城主の奥方芳野御前、正家、正吉はその子で、討死した城主阿仁直直家の十三年忌の供養塔であると伝え、かつての古城跡仲山城（標高二六七m）を背に、落城の哀史を秘めている。

元保平四郎行の
佐仰判生殿は信如
がけない

秩父郡皆野町大字金崎字大塚・岩下

宝登山が南西方にのぼした山脚下にひらけた河岸段丘上に存する。荒川の左岸にあって、国道一四〇号の親鳥橋の北方約一〇〇メートルに分布している。かつては八基以上の円墳があったといわれるが、現在は墳丘及び埋葬施設が保存されているのは大塚にある一と三号古墳と岩下にある天神塚(氷雨塚)の計四基である。

現存している古墳は、いずれも墳丘が原形を損じているが、墳丘の大きさは径十数メートルに及び、高さは二と五・二メートルに達しており、直径に比して高さが高いのが目立つ。葦石や周溝の有無は不詳である。

埋葬施設も、大塚にある一号古墳以外はすべて開口している。石室は横穴式石室であり、その平面プランは網張りの袖無型である。石材は当地に多産する長壽系変成岩を用い、板石をそのまま使用しているものと割石を用いているものがある。側石の積み方にも小口積みと互目積みとがあり、両方とも持ち送りを強く採用しているため、天井部

は小さく、しかも高くなっている。

古墳一覽表

No.	古墳名	所在地	墳形	墳丘計測値(m)		備考
				高さ	東-西南-北	
1	大塚一号	字大塚一七	円	二・八二	一六・五	未開口 宅地のため 墳丘損壊
2	" 二号	" 二	"	三・六	一六・〇	墳丘の北及 西側削平
3	" 三号	" 一五	"	三・三	一三・〇	大正年間 発掘、直刀
4	天神塚 (氷雨塚)	字岩下一〇	"	二・〇	一三・〇	

() 内は半径

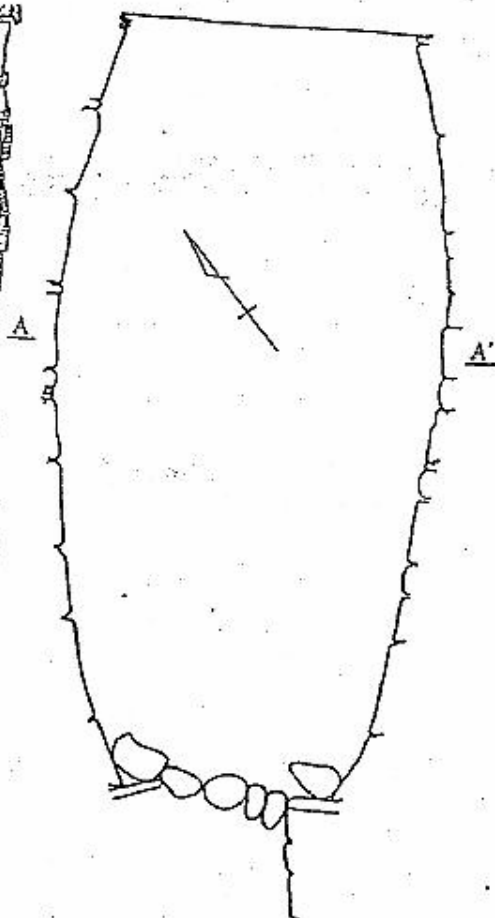
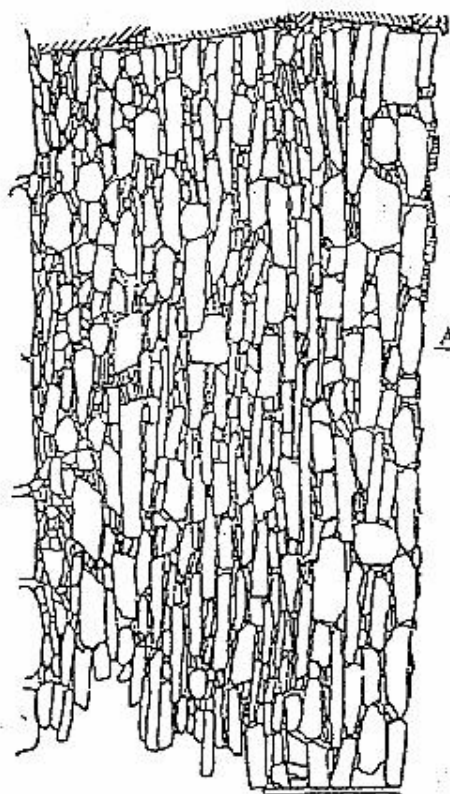
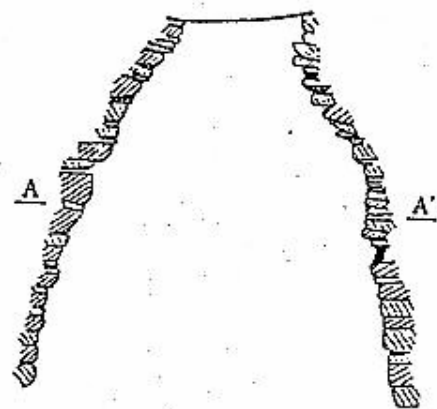
石室一覽表

古墳名	石室 形態	石室計測 値(m)	側壁 用材	側壁積 み方
大塚二号	袖無型	三・四	変成岩(岩石)	互目積
" 三号	"	三・四	変成岩(板石)と緑泥片	小口積
天神塚 (氷雨塚)	"	六・〇	岩・紅鱗片岩・絹雲母片岩 変成岩(板石)	互目積

田中一郎「金崎古墳群」埼玉県指定文化財調査報告書第一二集

昭五五年

古
墳



0 2m

石室與測圖 (大塚 3 号古墳)

に近くさらに節理や断層による垂直の割れ目に沿って崩落し、いわゆる岩壁を積み重ねたように見られている。上流の県立自然史博物館前の河原にある虎岩と呼ばれる露岩は、腕雲母片岩が横臥褶曲に近い構造に配列した岩石である。さらに上流の旧板鼻橋下の右岸にある露岩は、紅色をした紅麻石の結晶の入る紅麻石片岩で、珍しい岩石である。この露岩の上面には、長瀨地域で最大の“おう穴”がつくられている。

名勝及び天然記念物「長瀨」は、峡谷地形とともに岩石および鉱物の産出地として、大正13(1924)年に国によって指定されている。しかし、長瀨地域の特質はそれらばかりではなく、長瀨地域に発達する砂礫段丘と岩石段丘の比較や岩壁表面に形成されている“おう穴”の存在・秩父赤壁と呼ばれる岩壁の存在などから、この地域の地殻変動と地形形成との関連性あるいは四十八沼の形成とその生物相の変化など、一般的な自然環境とその変化についても研究・教育の場として、重要な役割を果たしていると考えられる。

参考書

- | | |
|------------|-------------------------------------|
| 表紙 | 長瀨ホット宅急便 長瀨町・長瀨町観光協会 H 7. 2 |
| P 1. | 秩父路のSLチラシ (財) 埼玉県北部観光振興財団 H 1 2 |
| P 2. P 3 | 長瀨町乃板石塔婆 長瀨町教委編刊 S 5 6. 5 |
| P 4. P 5 | 新編埼玉県史 資料編2 埼玉県編刊 S 5 7. 2 |
| P 6. P 7 | 名勝及び天然記念物「長瀨」保存活用計画策定報告書 長瀨町教委刊 9 7 |
| P 8. | 埼玉県立自然史博物館総合案内 埼玉県立自然史博物館編刊 H 3. 2 |
| P 9 | 長瀨ホット宅急便 長瀨町・長瀨町観光協会 H 7. 2 |
| P 10. P 11 | 日本の神々 第1巻 御霊社 千嶋 寿執筆 白水社 84. 12 |
| P 12 | 宝登山神社参拝のしおり 宝登山神社刊 |
| 地図 | 埼玉県シティニング道路地図 国際地学協会刊 9 9. 3 |

2. 「長瀬」の地形と地質

長瀬は、秩父山地北東部を開析した荒川峡谷の一部で、その景観は景勝の地として國の名勝及び天然記念物に指定されている。荒川は埼玉県西部を占める標高2,000m以上の奥秩父山地に源をもち、北東方向に流下しながら下刻作用をつづけ、奥秩父で見られる急峻な早壮年期の侵食地形を作り出している。秩父山地のほぼ中央部にある秩父盆地は、山中地帯帯とともに秩父山地における特徴的な間地帯をつくり、秩父間地帯とも呼ばれている。西方の奥秩父山地から流下した荒川は、秩父盆地内では流れが緩やかになり、尾田町および羊山の丘陵地形と数段に分化している低位段丘地形をつくっている。これら盆地内の段丘地形は、秩父盆地に分布する第三紀層の岩質と豊かな水量をもつ荒川の侵食作用によって作り出された侵食地帯である。

長瀬にある峡谷は、秩父盆地の東側に連なる上武一外秩父山地が、荒川によって深く侵食されたところである。秩父山地内の支流の水を集めた荒川は、さらに水量豊富な流れとなって秩父盆地北東隅の皆野町より寄居町まで、上武一外秩父山地を開析している。ここでは秩父盆地の低位段丘につづく河岸段丘が、荒川に沿ってときには広くときには狭くあるいは途切れながら分布している。この段丘上が峡谷内の平地として集落や鉄道・道路など生活の場として利用されている。

長瀬付近の峡谷をつくる荒川は、皆野町親鼻から長瀬町野上下郷付近まで南北方向に流路を保ち、左岸に沿って広い河岸段丘をつくり、厚い段丘堆積物（主に砂礫層）を載せ、集落も発達している。荒川右岸では河岸段丘の発達が悪く、集落も点在している。とくに長瀬対岸の秩父赤壁と呼ばれる断崖地形は、基盤の結晶片岩中の節理や小断層に沿っての荒川の下刻作用によってつくられたもので、山地が荒川に接して特異な景観を示している。さらに主要な景観地である岩盤の地形は、荒川に沿う最低位の河岸段丘で砂礫層がなく、基盤の結晶片岩が露出しており、岩石段丘とも呼ばれている。この平坦で岩の壁を積み重ねたような景観は、結晶片岩の構造（片理と節理）によって支配されている地形である。

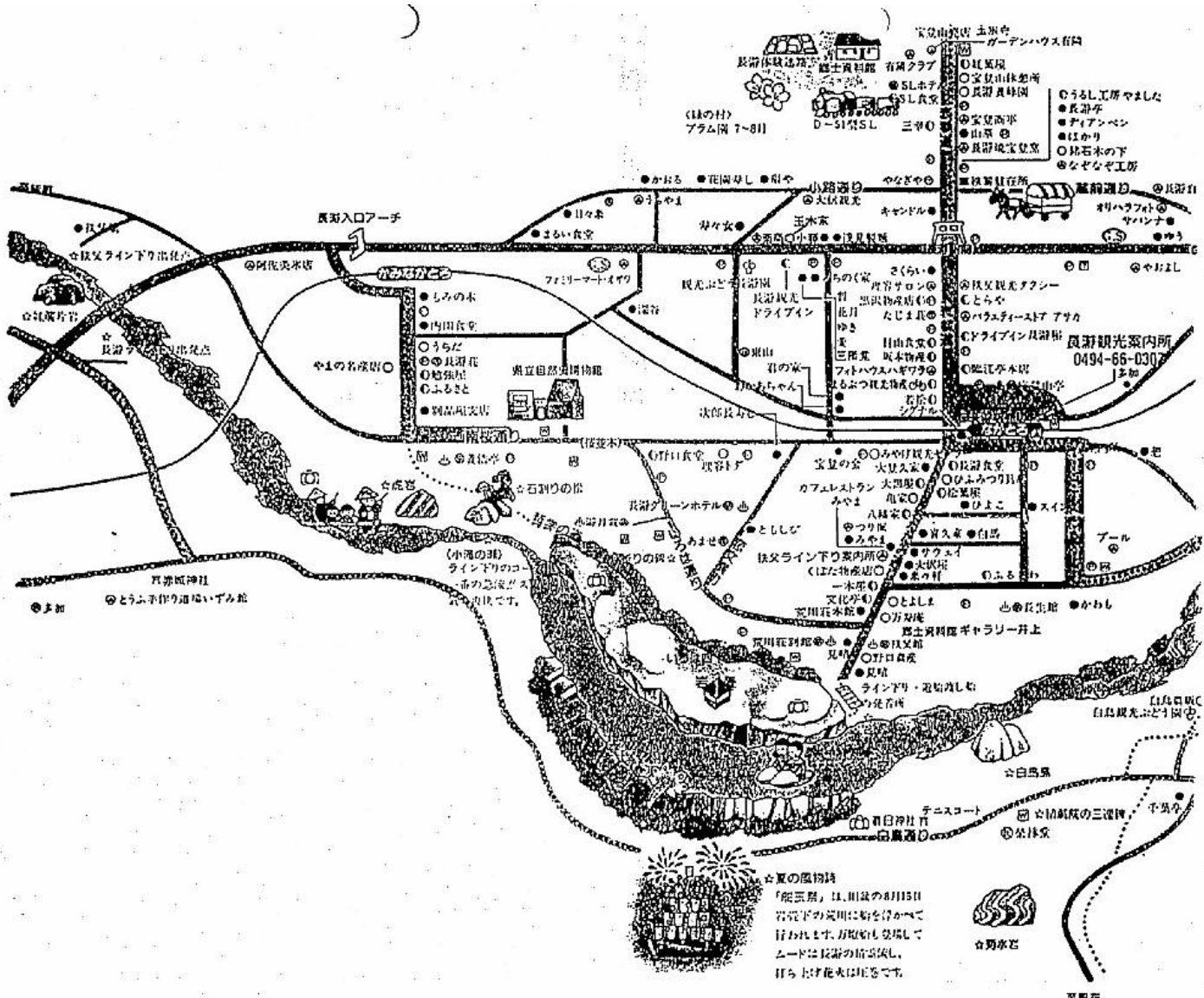
長瀬付近の基盤をつくる岩石は、三波川結晶片岩の一部で、緑泥石片岩・緑泥石片岩・石畳片岩・腕雲母片岩・絹雲母片岩・赤鉄片岩・滑石片岩など多くの種類から出来ている。三波川結晶片岩は上武一外秩父山地に広く分布する低温・高圧型の広域変成岩類で、片理の発達がよく板状に剥げやすい岩石である。三波川結晶片岩の中でも、変成度が高く曹長石の斑晶が肉眼的に観察できるくらいに成長した粗粒の片岩類を点紋片岩と総称するが、長瀬付近に分布する結晶片岩類は点紋片岩にあたり、秩父山地の中でも変成度の高い岩石類である。

また、三波川結晶片岩の中には、緑泥石・緑泥石・絹雲母・腕雲母・方解石などの鉱物が密集した縞状の構造や石英・曹長石・方解石などの脈あるいは黄銅鉱・黄鉄鉱・磁鉄鉱・チタン鉄鉱など単体の大型結晶が含まれているところがある。

名勝及び天然記念物として指定されている区域は、長瀬町高砂橋より皆野町親鼻橋までの荒川に沿う約4kmの地域で、荒川の河岸に沿って三波川結晶片岩類がよく露出している。高砂橋付近では緑泥石片岩や緑泥石片岩が多く、片理は南西にゆるく10°~20°の傾斜を示している。これらのつくる岩石段丘の上には大型の“おう穴”が形成されている。これら緑色の片岩類の上には、黒色の石畳片岩や絹雲母・石畳片岩などが重なっている。大黒岩と呼ばれる荒川の河原にある大きな岩塊は、赤鉄石英片岩でつくられ、浸食に耐えている。

指定地域中部の蓬萊島付近では、緑色の片岩類が多くなり、この中に腕雲母片岩や赤鉄片岩がみられ、また黄銅鉱や黄鉄鉱などの密集した部分があり、以前に銅鉱脈として採掘されたことがある。この金山付近の薄い石灰岩の中から、藤本治義博士は1934年に放射虫化石を発見し、三波川結晶片岩の変成時期を中生代中頃と考えられたことがある。

観光地として多くの人々が訪れる岩盤のところは、横臥崖面のみられる白鳥島と違って、片理は水平



宝登山 玉泉寺
ガーデンハウス有田
○紅葉園
○宝登山休憩所
○長瀬貝塚園
○うらし工房やました
●長瀬亭
●チアンペン
●はかり
○採石水の下
●なまなま工房

長瀬観光案内所
0494-66-0307
ま加

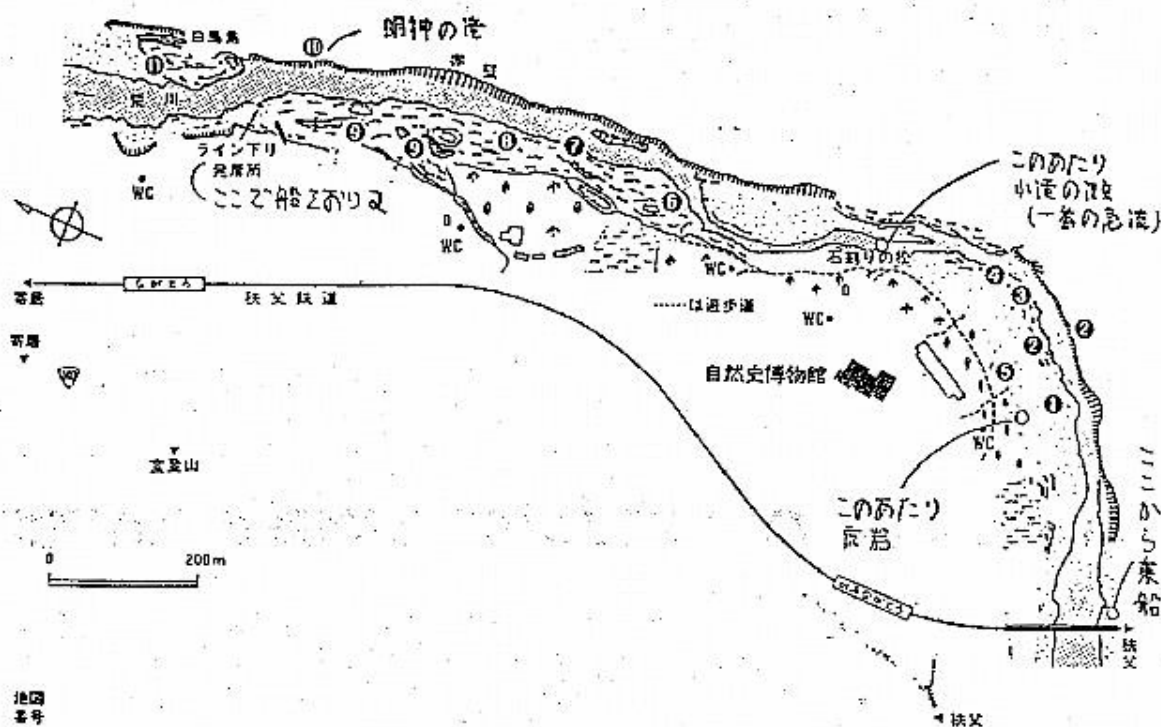
☆夏の風物詩
「能楽」は、旧暦の初日15日
若狭下の楽所に軒を付かべて
行われます。万葉集も登場して
ムードは長瀬の情景感じ、
打ち上げ花火は圧巻です。

夏風布

地球の窓・長瀬岩だたみ案内

コース

博物館→荒川の川原→岩だたみ・四十八沼→長瀬駅
所要時間約2時間



池田
番号

- ① 川の水のはたらきで、川原の石がななめに傾いて並んでいます。
- ② 自然史博物館側の川岸には運ばれてきた砂や石がたまってひろい川原に、反対側は岩が削りとられて崖になっています。
- ③ このあたりには、濃い緑色の「緑泥石片岩」や黄緑色の「緑れん石片岩(27ページ参照)」がみられます。
- ④ ステルブノメレンという茶褐色の鉱物のはいった岩石です。岩の表面のしま模様が、トラの毛皮のようにみえるので「虎岩」とよばれています(26ページ参照)。
- ⑤ 林にはクスノギ、斜面になったところにはススキに似たオギ、大小の玉石のあるあたりにはツルヨシがみられます。
- ⑥ ここまでみてきた岩石の色と岩だたみの岩石の色をくらべてみましょう。岩だたみには、黒色をした「石英片岩」がひろくみられます。
- ⑦ すこし高いところから岩だたみに生える草のならばかたをみると、岩のわれめの向きがわかります。荒川の流れの向きとくらべてみましょう。

- ⑧ ポットホール。むかし川底であったころ、うず巻きにはまった小石が岩を削ってできた穴です。現地に解説板があります。
- ⑨ 岩だたみの上には、四十八沼とよばれる沼があります。沼の岸边にはカヤツリグサやヨシ、水中にはアオミドロなどがみられます。水中には小さな巻貝もみられます。貝殻の口を前にしてみると、岩に巻くもの(モノアラガイ)と、左に巻くもの(サカマキガイ)があります。沼にはタイリクバラタナゴもすんでいます。この魚はドブガイなどの二枚貝に卵を産みつけます。その代わりに、貝の子どもはクナゴのひれなどにくっついて、運んでもらいます。
- ⑩ 沢の水が涸らなくなって荒川に合流しています。
- ⑪ 岩石のしま模様が波うつように曲がっています。これはしゅう曲とよばれる現象です。曲がりかたをなぞってみましょう。

宝登山神社

長瀬町長瀬字谷津

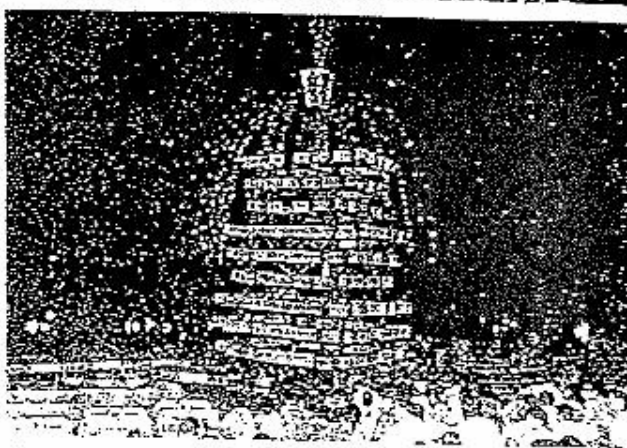
秩父盆地の北部、通称「岩畳」という結晶片岩群で名高い荒川上流（通称「長瀬」）の左岸に四九七メートルの独立峰がある。

これが宝登山であり、長瀬町の南に隣接する皆野町（箕山麓）から仰観すると、人工の山かと疑いたくなるほど美しい二等辺三角形をなしている。地元では「ホド」山とも「ホト」山とも呼ばれるが、その名の由来は東側山麓の自然湧水池にあると言われ、この池から流下する沢は山麓を東南方にたどって微小な谷津を形成する。

この池には二つの伝説がある。

ひとつは、弘法大師巡錫の折、この池の水に手を入れると水中から宝珠が浮かび上がり、山頂へ向かって飛び去ったので、玉泉と名づけたというものである。ここにはのちに龍谷山玉泉寺が建ち（永久元年（一一三三）、それが現在の会慶山地蔵院玉泉寺（新義真言宗）である。

もうひとつの伝説は、日本武尊に関するものである。東征の折、尊はこの地に至り、この池で禊をして山頂に登り、大和国に向かって神籬をたて、神武天皇陵を遥拝した。そのとき山中の良（東北）の方向から山火事が襲いかかったが、巨犬が現われて火を鎮め、尊を助けるやその姿を消したという。これによって山名を火止山と呼ぶようになり、神籬の跡に社を営み火止山神社としたのが当社の起源であると「由緒取調書」は伝える。



宝登山(上) 舟魂祭の舟傘鉾(下)

二つの伝説がいずれも自然湧水池を出発点として語られているように、玉泉寺と宝登山神社はこの池を中心に一体化していた。これは玉泉寺の境内に社殿が営まれて長く管理されてきたことによるものと考えられるが、この関係は明治維新の神仏分離までつづき、玉泉寺と社殿とが隣り合って並存している形態は現在も変わらない。

当社は神日本磐余彦尊（神武天皇）を主神とし、火産靈神と大山祇神を配祀するが、摂社として日本武尊社があり、山頂には奥社が鎮座している。

例祭は四月三日（もとは四月八日）。奥社祭は八十八夜の日に行なわれ、日本武尊を祭祀して、山麓から山頂へ神輿の渡御がある。夏祭は八月十五日。夕刻から夜にかけて荒川で「舟魂(玉)祭」が行なわれる。これは長壽の舟下り(遊覧舟)の安全を祈願するもので、氏子たちは二基の舟傘鉾を飾りたてて祭を盛りあげる。

なお、当社の前面の山麓傾斜地一帯は縄文中期から後期の遺物を多く出土し、住居跡と見られている。

(交通 秩父鉄道長瀬駅から徒歩五分。山頂へはロープウェイがある)

(千嶋 壽)

境内案内図



1

2

3

4

5

6

庭園

多聞殿

みそぎの泉

社務所

本殿

神札所

山門

御神木

手水舎

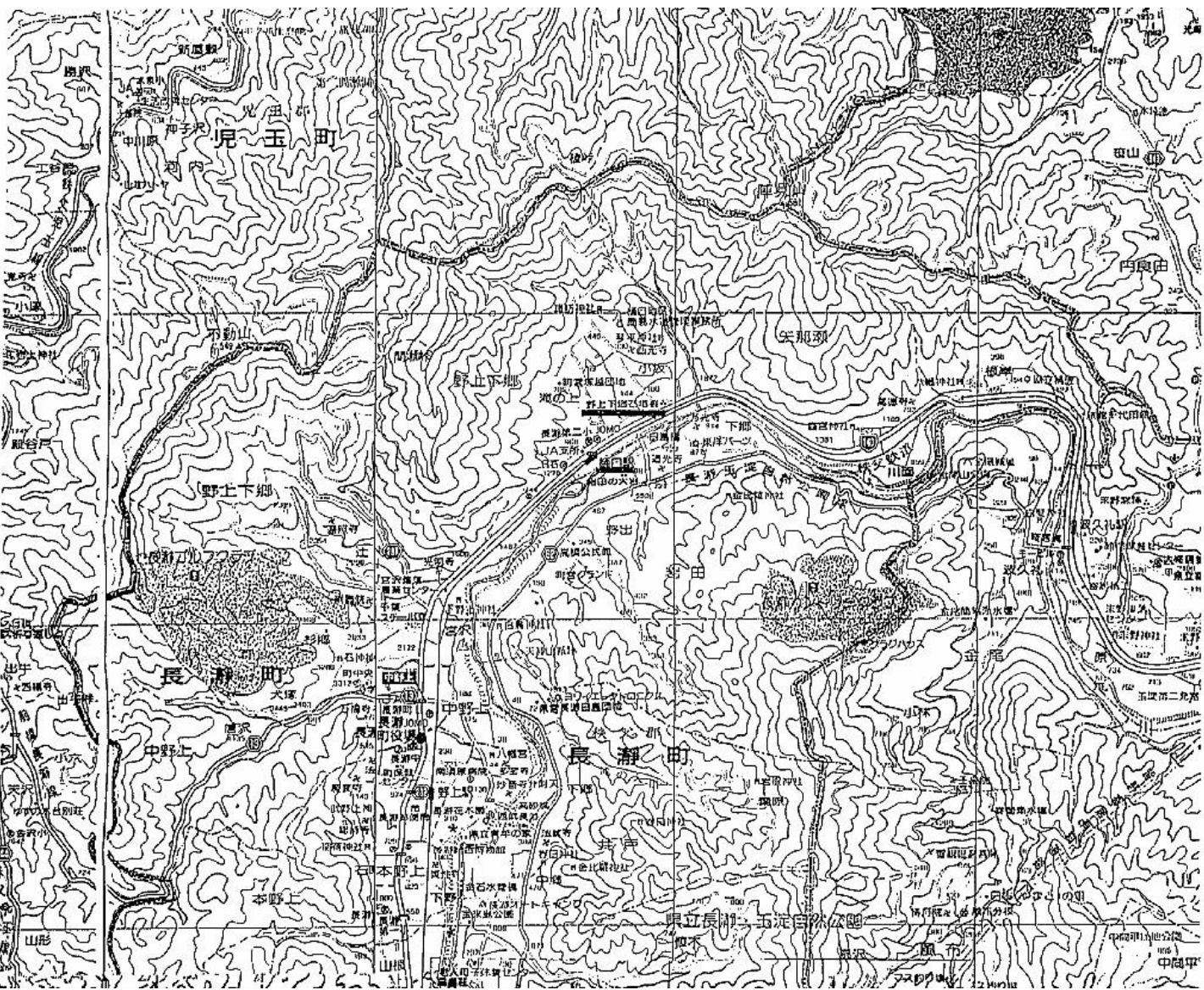
二の鳥居

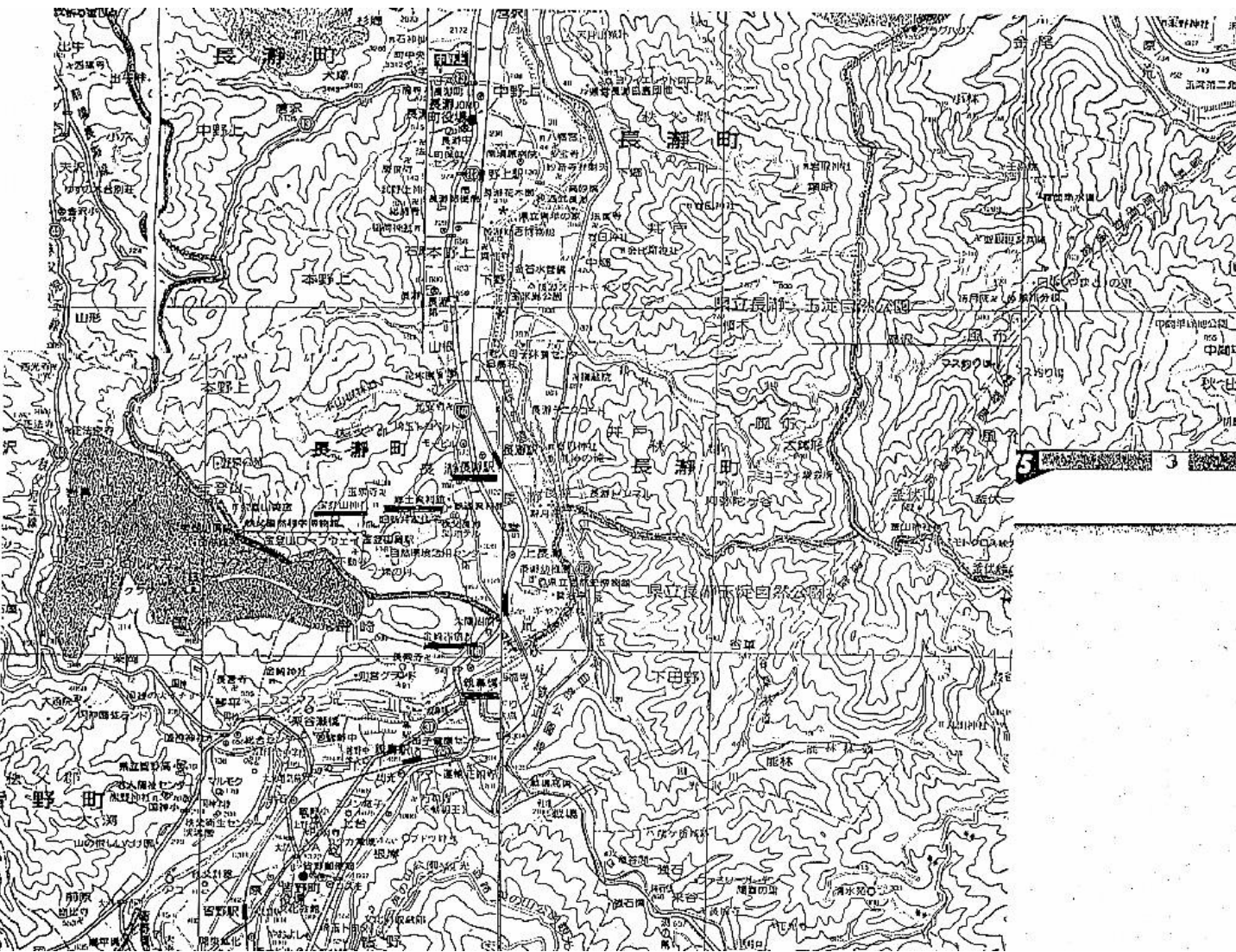
新館

北

車おはらい所

相生の松





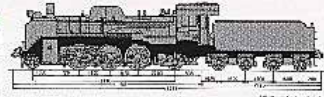


夢とロマンを乗せてSLの旅

SL運転時刻表

C58 363号 主要諸元

平日	下り			上り		
	駅	発	着	駅	発	着
休日	龍谷	10:10		磯口	14:00	
	武川	10:33		御花畑	14:27	
	岩間	11:05		秩父	14:32	
	長野	11:36		野崎	14:50	
	秩父	11:52		長野	15:11	
	御花畑	12:12		岩間	15:41	
	磯口	12:15		武川	15:59	
	龍谷	12:46		磯口	16:20	
	龍谷	10:10		磯口	14:03	
	武川	10:32		御花畑	14:30	
	岩間	11:03		秩父	14:36	
	長野	11:37		野崎	14:54	
秩父	11:50		長野	15:12		
御花畑	12:19		岩間	15:38		
磯口	12:23		武川	15:57		
龍谷	12:54		龍谷	16:18		



運転整備重量 機関車458.70t 炭水車41.50t 計499.2t
 空車重量 機関車453.60t 炭水車41.50t 計495.10t
 最大寸法(長さ×幅×高さ) 18275×2936×3940ミリメートル
 シリンダ牽引力 13270kg
 台車形式 先着中LT-147 後着中LT-155
 給油装置 ワルシャート式分岐式
 プレーキ装置の種類 ET-645空気ブレーキ及び手ブレーキ
 連結器の種類 柴田式下作用

印は SL停車駅

- 三峰口
- 龍谷
- 武川
- 岩間
- 長野
- 御花畑
- 磯口
- 秩父
- 野崎
- 大野
- 皆野
- 上野原
- 長瀨
- 磯口
- 高久礼
- 磯居
- 小前田
- 永田
- 武川
- 明戸
- 大森
- 石原
- 上野原
- 熊谷
- 持田
- 行田
- 栗田
- 武木
- 新木
- 西郷
- 羽生